アフィリエイトの最新動向

高木 利弘 ●株式会社クリエイシオン 代表取締役

携帯アフィリエイト広告への需要拡大が市場を牽引
複数のASPを一括管理できるワンタグサービス登場

アフィリエイト広告の台頭

アフィリエイト（成功報酬型インターネット広告）のルーツについては諸説あるが、最初にきちんとしたアフィリエイトの仕組みを作り、大きな成功を収めたのは、1996年にアマゾンが始めた「Amazonアソシエイト・プログラム」である。アマゾンは個人のホームページと提携し、そのページの閲覧者がリンクをたどってAmazonで買い物をしたときに、売上金額に応じた成功報酬を支払うシステムを開発した。

その後、アフィリエイトネットワークの広がり、およびテクノロジーの進化はすさまじく、今やインターネット広告の第3の柱へと成長してきている。

第1の柱とは、言うまでもなくバナー広告に代表されるPV（ページビュー保証型）の広告である。第2の柱は、リスティング広告に代表されるCPC（Cost Per Click＝クリック保証型）広告、そして、第3の柱がアフィリエイト広告を代表するCPA（Cost Per Aquisition＝成功報酬型）広告である。

日本ではバリューコマースが1999年11月にECサイト向けに「バリューコマース・プログラム」のサービスを開始したが、これがアフィリエイトサービスプロバイダー（ASP）の最初と言われている。このASPは、アフィリエイト広告を出稿したい側（マーチャント）と、アフィリエイト広告で稼ぎたい側（メディア）を仲介するプログラムを提供しているアフィリエイトの広告代理店と言うことができる。

携帯アフィリエイト市場の拡大

アフィリエイトの市場規模については、矢野経済研究所が『アフィリエイトサービス市場動向に関する調査結果2008年版』（2008年1月31日発表）において2008年度は901億円になると推測している。さらに2009年度には1103億円、2010年度には1325.4億円と予測している。

アフィリエイト市場の内訳を、PCアフィリエイト市場と携帯アフィリエイト市場に分けた場合、2008年度はPC 585億円、携帯316億円であるとし、2009年度はPC 702億円（対前年度比120％）、携帯401億円（対前年度比127％）、2010年度はPC 828.4億円（対前年度比118％）、携帯497億（対前年度比124％）になると予測している。携帯アフィリエイト市場の伸びのほうが、PCアフィリエイト市場の伸びよりも大きく、ここ数年のうちに携帯アフィリエイト市場が全体の約4割を占めると予測している。

PC市場のASPと携帯市場のASPの違い

PCアフィリエイト市場では、バリューコマース、ファンコミュニケーションズ、インタースペース、リンクシェア、トラフィックゲート、アドウェイズの6社が代表的なASPとなっている。

一方、携帯アフィリエイト市場では、ディー・エヌ・エー、アドウェイズの2社が代表的なASPである。アドウェイズはメディアとして「GREE」と提携しており、ディー・エヌ・エーの「モバゲータウン」と「GREE」の2大SNSの存在が、現在の携帯アフィリエイト市場拡大の核となっているのである。また、PC市場の大手ASPが、必ずしも携帯市場の大手ASPになっているわけではない。その主な理由として次のようなものがある。

第1に、PC市場と携帯市場では、主なマーチャントが異なる。PC市場は金融やショッピングが中心であるのに対して、携帯市場は携帯コンテンツサイトが中心となっている。第2に、ビジネスモデルの違いが挙げられる。PC市場では、マーチャントはどのメディアであれ、より多く成果が上がればいいというスタンスでビジネスを展開できる。しかし、携帯市場では主なマーチャントが着うたやゲーム、電子書籍といった携帯コンテンツサイトのため、単に会員が獲得できるだけでは十分ではない。その会員が定着し、毎月コンテンツを利用してもらうためのノウハウの蓄積が重要となってくる。

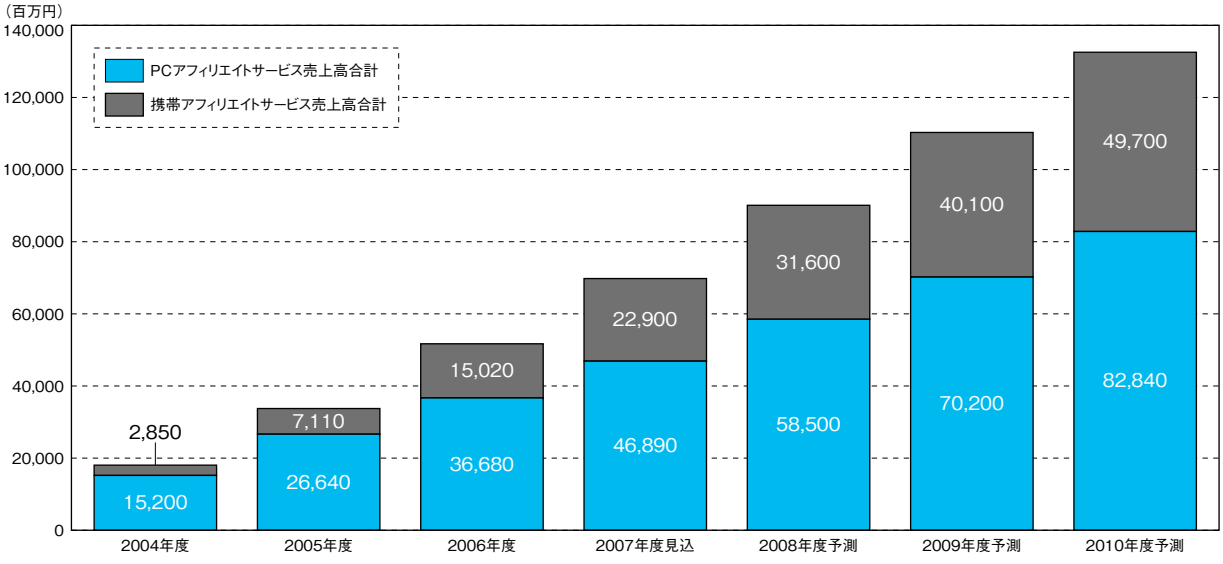
ワンタグサービスの登場

アフィリエイト市場の拡大に伴い、数多くのASPが登場してきた。一方、マーチャントが、それらのASPと個々に対応していくのは非常に煩雑であり効率的ではない。そこで、新たに1つのタグを埋め込むだけで、複数のASPサー

インターネット白書／ ©1996-2012 Impress R&D

2010年度には1300億円を超える市場に成長すると予測

資料1-3-20　アフィリエイトサービス市場規模予測



出所　矢野経済研究所『アフィリエイトサービス市場動向に関する調査結果2008年版』（2008年1月31日発表）

（単位：百万円）	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度見込	2008年度予測	2009年度予測	2010年度予測
PCアフィリエイトサービス売上高合計	15,200	26,640	36,680	46,890	58,500	70,200	82,840
携帯アフィリエイトサービス売上高合計	2,850	7,110	15,020	22,900	31,600	40,100	49,700
総合計	18,050	33,750	51,700	69,790	90,100	110,300	132,540

■アフィリエイトサービス市場の市場規模算出方法
※ASP型売上高は、広告費（成果報酬金額）、手数料、初期費用、月額費用、オプション費用の合算で推計
※モール型売上高は、広告費（成果報酬金額）、手数料の合算で推計。（初期費用、月額費用、販売手数料などは除く）
※独自型売上高は、広告費（成果報酬金額）のみの数値で推計

ビスに対応し、一括管理できるワンタグサービスが登場してきた。

また、PCと携帯では必要とされるワンタグサービスに違いがある。携帯ワンタグサービスでは、「コンバージョン離脱率測定」や「不正対策」といった機能が求められる。

前述したとおり、PCアフィリエイトで多いコマースサイトでの購入や不動産などの資料請求の場合は、成果が上がった時点でコンバージョンが成立する。しかし、携帯アフィリエイトに出稿している多くは携帯コンテンツプロバイダーであり、会員登録したユーザーがきちんと会員として定着するかどうかが、非常に重要な問題となってくる。ところが、中にはポイントを稼ぐために会員登録を行って、すぐに退会してしまうユーザーや、成功報酬を得るために自ら不正な会員登録を行う悪質なメディアもある。そこで、こうした「コンバージョン離脱率測定」や「不正対策」が必要になる。

ワンタグサービスの中には、コンバージョン後のユーザーの行動を追跡し、その行動分析から、ユーザーに対して新たな提案ができるサービスを行っているものや、アフィリエイトの効果測定のみならず、いわゆるバナーの純広告、リスティング広告と併せて、どの広告モデルが効果を挙げたか、比較検討できるサービスを提供しているものもある。さらに、「EQS View」(*1)のように、アフィリエイトの「直接効果」のみならず、PCの検索サイトで検索したりバナー広告をクリックしたことがきっかけとなって、アフィリエイトで成果に至るといった、いわゆる「間接効果」のトレースまで提供しているものもある。

携帯アフィリエイト市場は日本で最初に始まったと言われており、世界最先端のアフィリエイト広告マーケットであるといっても過言ではない。経済状況が厳しくなる中、広告クライアントはPVやCPCよりもCPAを重視する傾向が強まっている。こうした中、アフィリエイト広告は、将来的にはいわゆるワンツーワンマーケティングの本命にまで発展するポテンシャルを秘めていると言うことができる。

（＊1）http://eqsview.jp/

インターネット白書／ ©1996-2012 Impress R&D

［インターネット白書ARCHIVES］ご利用上の注意

このファイルは、株式会社インプレスR&Dが1996年～2012年までに発行したインターネットの年鑑『インターネット白書』の誌面をPDF化し、「インターネット白書ARCHIVES」として以下のウェブサイトで公開しているものです。

http://IWParchives.jp/

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

●記載されている内容（技術解説、データ、URL、名称など）は発行当時のものです。

●収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者（執筆者、写真・図の作成者、編集部など）が保持しています。

●著作者から許諾が得られなかった著作物は掲載されていない場合があります。

●このファイルの内容を改変したり、商用目的として再利用したりすることはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。

●収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用される際は、出典として媒体名および年号、該当ページ番号、発行元（株式会社インプレスR&D）などの情報をご明記ください。

●オリジナルの発行時点では、株式会社インプレスR&D（初期は株式会社インプレス）と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接的および間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

お問い合わせ先 | 株式会社インプレスR&D | iwp-info@impress.co.jp

©1996-2012 Impress R&D, All rights reserved.